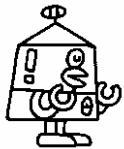


おなかの中の赤ちゃんのおしっこやうんちは、どうなるの



赤ちゃんの体内にできないものは、へそのおから、
たいばんを通して、お母さんの血液にわたされるのさ。

体内の赤ちゃんのうんちやおしっこは、へそのおから出ていく

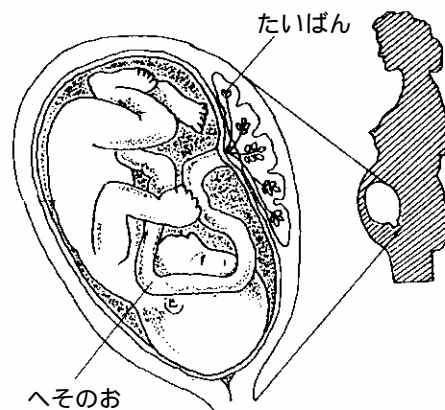
お母さんの体内にいる赤ちゃんは、羊水ようすいという水の中にういています。その中に、うんちやおしっこをしたら、それをまた飲みこんでしまうことになります。

じつは、体内の赤ちゃんは、ふつう人間がするような、おしっこやうんちはしません。うんちやおしっこに当たる、体内にできないものは、へそのおを通してお母さんにわたしているのです。へそのおは、お母さんのたいばんとつながり、そこで、血液を通してできないものをわたし、同時に、赤ちゃんの体に必要な栄養えいようや、酸素さんそを受け取っているのです。

たいばんには、お母さんの血液がきている

人間の体内には、栄養分や肺はいからすいこんだ酸素をたっぷりふくむ血液が流れている動脈とよばれる血管と、体内にできないものをふくんだ血液が流れている静脈とよばれる血管があります。動脈は体内に酸素や栄養分を運ぶ役目をし、静脈は体内にできないものを集める役目をしています。集めたいらないものは、おしっこをつくるじん臓ぞうに運ばれたり、二酸化炭素にかたんそをはき出す肺に運ばれます。

たいばんには、お母さんの動脈と静脈がきていて、赤ちゃんに酸素や養分をわたしたり、いらなくなったものを受け取って、しよりしてくれるのです。



赤ちゃんの体に必要な物、いらぬ物は、へそのおとたいばんを通してお母さんとやりとりされる

もっと知りたい人へ：「へそのおについて、教えて」も見てみよう。